京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年

本紙定價▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

内外應酬　一記者

▲予は三界の首枷と云ふのは吾輩の今日の處に言はんと欲する處に合せぬ、予[illegible]家族なし、夫婦[illegible]は一家和樂の源泉である、此の和樂の状態は又其子に依て隣人にも及ぶのである、新らしき土地に移り住むで隣佑の親しみを増す動機は夫婦間の楔の役を務むる兒子の無邪氣なる働きが大なる分前を有するのである、之れを殖民地否手近く此處京城に見るに、十數年前迄は日本居留地は極めて少數の女性を有するのみで大多數は働き盛りの壯者であつた、當時は泥臭の居留地に住む者には僅に温き怡樂を有するは無かつたさいふ追懷談屡々耳にする處であるが、其後物移り星變り現下の狀態なつて居留民は母國に住むと殆んど同樣に住み好くなつた、其功は女性と子供殊に子供が最大なる部分を勤めて居るのである、卽之子供の價に於既に日韓の關係は無いのである、日韓一家説の急先鋒は子供である、子供は實に親の寶といふのみならず實に國家の寶であるといふことを今更事新らしく感ずるのに無理はあるまい、然るに此の子供が學齡に達して小學校に送らるゝ頃となると少しく兩親の保護的注意が薄らぐ、夫れは子供が成長するにつれて少しづゝ自ら治むることが出來るやうになるからで、子供をして自主獨立の精神を養成せしむるべく人間天賦の教育法であるといふべきである併しながら稍長じて中學若くは高等女學校にも進む頃になれば兩親の注意が薄らぐとよりも寧ろ恐るといふやうにも見ゆる、勿論之れは多數の兩親を指すのである、京城に於ては特に此の感が深いのを吾人は甚だ遺憾とする、過日本中學校が多數の落第生を出した爲めに世間に非難の聲が高いが、强ち中學校の職員のみを責むべきでない其の一部の責は生徒の兩親も亦負はねばならぬ、併し過去は追ふべからずとして、將來に於ける深き注意を促し置く、若又女兒に對する兩親の注意は云ふ迄も無く男兒に比して嚴密であらうが之れは尙一層周匝ならんことを希望せざるを得ない、丁度女兒が幼少の頃に彼女の上に措ほれたる注意を殊且つ密にしたるそれを必要とするのである、吾輩は女子敎育に關する世人の要とする處を反覆することを避けてヨリ以上[illegible]に提供しやう、幷は諸る地の高等學校長が部下の敎員を御する爲めに用ゆる縣採なる方法である彼れは其任地調査に於て部下の女敎師の一人を精神肉體ともに彼れを離るべからざる地位に置くのである、如何なる手段を用ゐても必ず之れを決行するのである、而して該の女敎師を多數職員の中に放つて彼等の内情を探らしめて彼れの位置を鞏固にするの用に供するのである、同時に部下の職員をして彼等自身戒飭點を見すべき機會を與ふることに於て甚だ巧妙である、爲めに彼れは醇厚良校長と稱せられ良敎育家として許されると聞く、誰れか之れを聞いて戰慄しないものがあらうか、學校の實世間には斯る例すら有るのである、家の寶、家の寶を保育する子の親、特に女の子の親は大に注意せねばならぬ社會も亦最善の好意を以て之れを扶けねばならぬ。

●清津附近三月漁況

春期主要漁の一たる明太魚は本月初旬より其漁獲を見るに至れり清津半島西岸に七統東岸に六統の角網は何れも繁々として漁撈を努めつゝあり從來清津半島東岸一体の海面は明太魚に適せずと捨てゝ省みざりしに本年石川縣出漁船三四組之れに投網なしたるに其漁獲の多きこと半島西岸に讓らず寧ろ其れ以上の漁獲ありと云ふべき狀勢を呈せるなり清津附近の好漁場に富める今更ら瞭々するの要なき處なるも未だ漁業發達の域に達せざるにより其精密なる調査をなして善良漁場を得んとする熱心なる漁業者なし多くは舊慣を探り居るのみ其他羅津浦、梨津に於て二統の魚網漁業者ありて盛んに明太魚、鰊を漁撈しつゝあり更らに遠く雄基灣を見るに四統の角網並に其東方浦項鎭地西浦項地先に一統の角網建設ありて何れも鰊、明太魚、鰈を目的とせるなり本年明太魚の價は一尾六厘乃至八厘許りの相場なり其他韓人手操網漁船四隻は清津東海岸に於て日々漁撈に努力しつゝあり貝類に至つては魚島浦の牡蠣及び雄基灣附近大津灣の地寄貝並に羅津灣浦の瀬戸貝等は盛んに漁獲せられ居れり本月中漁獲魚類の金高大畧左の如し

鮑四十圓、明太魚七百圓、鰈九十圓、鰊百三十圓、章魚三十圓、牡蠣百六十圓、瀬戸貝及び地寄貝九十圓、鰆二百二十圓、雜魚七十五圓、計[illegible]千五百[illegible]十五圓也

本年明太魚の盛漁期は三月より四月中旬までならんと思料せらる本月末より漸く其漁獲の多きを見るに至れり尙ほ近日に二三統の漁網板網は增加せんとせるものあり（三月二十六日調）

●國民中學會講義録

通信教授に於いて本邦唯一と稱せらるゝ東京神田駿河臺の國民中學會は[illegible]三回の新學期を開講して會員を募集中なるが流石に設立以來七歳を經て基礎最も鞏く信用自ら他と異るものありて入會申込者日に幾百を以て算し三月中に會員籍に入れるもの既に四萬人を超ゆたりと云ふ斯くの如きは同會創立以來の盛況なるを以て此際一層會務を擴張すると共に講義錄の眞價を世に問はんとし先き頃文部陸軍の兩相に講義錄を贈りて其批評を求めたるに小松文部大臣は同會に書面を送くりて激稱の辭、寺内陸軍大臣も同會の將來に囑望する旨申送くりたりといふ尙ほ同會は全然文部省中學校令に準據せる正則中學講義錄（二箇年半卒業）を發行し來りしが今回更に新たなる速成講義錄を發行し最も嶄新なる講述法を以て一箇年半の短期に中等教育を授く可しと云ふ目下新學期開講の際にて諸種の特典あり入會に最も便宜なる時なり

●兵須氏の轉任事情

百三十銀行仁川支店長兵須久氏が近く大垣共立銀行に轉任せらるべき由は既報の如くなるが之れを聞くや同地の有志者は温健なる思想を備へ而も金融界に功勞多大なる氏を仁川に失ふを遺憾として留任運動を試みんとする者出でたれど安田家の關係上大垣共立銀行内の整理を一任せられたるのみならず元來氏が仁川に轉任し來りたるは同支店内の改革整理にあり既に其目的を達したる今日なれば如何に留任運動を試む



第八十二席　邑井一講演
法城寺正弘（五）

それですから、暫時家計上の事を忘れて、轉地療養と當節ならばいふ所なのであります、また醫術の開らけない頭といふものは情ないもので、服めて汗の出る藥を飲ませた所で、別段何の効驗もありません、其のうちにおとくは瀬ゝ顏の鼬が靑ゝ衰つて來て、肉は落ち頰骨は高く、眼は奥へボンと引込んで、山の手の井戸の如く、一目で此れは容易ならぬ重病といふ事が判るやうになりまして、イトも疲勞の体で、枕に首をつけたぎりに、動くどころへ出來なくなつた、スルト或日の事、何思つたかおとくは幾三郎を枕頭へ招きまして、糸のやうに瘦せ細りたる手もて落來る涙を拂ひながら　とく「幾三郎や、もそつと此方へ來てたくれ、病氣の爲か苦しくつて聲が立たないから、夫れに他人に聽ゐても惡いことだしするから……　幾「何御用でございますか　とく「ナニ、他の事でもないが、妾もモウ二三日内が永眠だらうと思ふのだよ　幾「そんな心細い事をいつてはなりません、老年といふでもなし、醫者樣のいふには、少し食べる物に慾さへ出て來れば療治の仕樣もあるといひますから少しでも力のつく物を召上がつては如何でございます　とく「私も其のくらゐの事は知つて居るが、生きて居て恥を掻くよりも、一層死んだ方が宜いと思つて居るのを　幾「何故です　とく「妾はね、幾やお前のために殺されたのですよ、情けないとは思つて居るが、何うも宿業の業といふのだらうよ　幾「ヘゝ何と仰有います、私が殺すのだとは……何うして夫れが……　とく「いゝゑお前が、手をもつて殺すといふのではないが……あゝ苦しい……話する事さへ出來ぬ仕誼察してたくれ」と泣き伏すおとくの樣子を見て幾三郎は眼をパチくりさして　幾「ねゝ何かは存じませんが、私のした事について何をお氣に觸つた事でもおりますなら外に誰も聞て居る者もない此座敷何か心の晴るように云て下さりませ」と蒼白々しき幾三郎の言葉におとくは涙の充滿居る眼にて恨めしさうにじろりとながめ　とく「言ひませうとも言ひませうとも、何うせ死んで往く身の差づる事もあるまい、斯ういふ次第さ、旦那樣がまだ死亡る十四五日前の事、近所の人に代つて貰つて、暫時眠らうと奥の六疊の座敷へ來て、鳥渡合はした眼の中へ見ゑたのはお前の姿、商賣の相談だと僞つて、到頭妾を無理無体に口説きし、アゝ情けない……、其の後は不思議や月經の見ゑざるは、確かに懷姙は知れた事、如何なる因果であればとて、觸りはあらで孕むといふは、能く〱業ではある、旦那は如彼病氣ゆゑ、同衾をせやう筈はなし、若しも旦那樣のお死亡の其の後にて、子など產むやうなことがあつたなら、長右衛門の在世から、内密通じた男があつたかといはれる時は、千日に刈つた茅も一時だと、種々に思を焦し、工風もして見たなれど、毎月體は重くなるのみで、妾は心配で心配で堪らず、氣で氣を病みし此の病氣、幾や、お前は罪な人だね、妾は世間の人に合はす顏がないからノウ、黄泉へ往くのを待つばかりであります」と拔れたる兩手を合せつゝ涙に曇る眼の中は、イトも憐れの次第であります、幾三郎は良暫時茫然として居りましたが　幾「アゝ恐れ入りました、主殺しの此の幾三郎、若氣の失策、ツイ飛んだ事をいたしましたに相違ございません、お内室さんが万一の事がありまして、百ケ日でも經ちましたら、私も共に死にまして、此の御詫はいたしまする、眞平御免下さりませ」と額に汗を流して入るべき穴もあらばと、悄然て居りまする　とく「イヽエ今更詫びたとて詮方はありません又妾とても再更罪がないともいへません、如何にお前が何と言つても願はれは宜かつたをツイしたことから斯樣事にもなつたものであります、水溜らねば月も宿らず、畢竟妾にも七分の罪はあるといふもの、宿世の因果と諦めますから、お前さんも何うか世間へは洩らさぬやう内々にして、何處までも妾は病氣で死んだとして置いて、後の處を上總屋の暖簾に疵のつかぬやう、末の盛昌を見せて下さい、是ればつかりが……」といふ聲も、今は野末に鳴く虫の息さへ絶ゑなんばかりであります



東京電報

首相と曾禰統監

桂首相は二十九日秘書官を片瀬に遣はし曾禰統監を見舞はしめ且つ告ぐるに韓國の現状一日も曠職すべからざるを説き至急辭任すべきを慫慂せしに曾禰子之に答へて最後の覺悟を示し十日までに辭任すべく明言せりと(三日午後五時着)

伏見宮の御消息

御渡歐の途にある伏見大將宮殿下には二日午後門司御出發新嘉坡に向はせられたり(同上)

韓賓の御退京期

御滯京中の韓國義陽君殿下博恭王殿下には來る六日午前十時廿分新橋御出發御歸國に向ふことに決定せり(四日)

外債發表と當局

外債は四月下旬頃まで發表すべしと當局者は語れり(同上)

日清交渉の成行

其の筋へ達したる公電に依れば鴨緑江採木公司問題に關し清國政府に交渉しつゝあるが委員外一名は來る七日安東縣に到着し本邦委員と交渉を開始すべしと(四日)

宮相と親任事情

岩倉公の薨去後渡邊宮内次官大臣に親任せらるゝ事情は宮相の椅子は一日も空位を許さず且つ前宮相田中伯辭職の際後任選擇難出し頗る失態ありしに鑑み電光石火的に夜中にも拘はらず御所に於て親任式を行はせられたり(同上)

議院建築の調査

議院建築調査費四万五千圓を支出せるも本年度は調査費を以て遺憾ながら建築に掛る筈なるが調査の準備に取掛る筈なるが國會の開設迄には千載の後迄も存すべき大建築物なるが故に技術家の多くを選擇して實地に當らんとするも一大建築物の設計は困難なるを以て本年度に於て調査局を設置する計畫なりと(同上)

佛國關税の實施

巴里駐在大使の報告によれば佛國關税法は四月一日より實施せられたり同法の實施せらるゝ樣になれば本邦品も無税となるべし(同上)

京都華族の憂慮

故岩倉公は生前京都より深く同族の團に關係せられ和歌の團体なる保存會を初めとして京都在住華族の團体に何與れとなく後見せられ之等の團体が今日あるは至尊の思召によると勿論なるも公の盡力なかりせば今日の盛事を見る能はざるべく旁公の薨去は少からざる打撃を與へ京都華族連は眉を顰めて憂慮し居れりと(同上)

東京市と濤貝勒

東京市にては帝國ホテルに濤貝勒殿下を招待し夜會を催ふし各大臣以下二百名參會日清兩陛下の萬歳を祝して乾杯頗る盛會を極む(同上)

公債募集に着手

第二回公債一億圓償換本日より募集(同上)

▲大島關東都督歸任 大島大將は五日出發歸任すべし(同上)

▲宮内次官後任内定 渡邊宮内次官大臣に陞任に付き齋藤帝室會計審査局長後任として任命のことに内定(同上)

▲中央倶樂部報告書 中央倶樂部の本期議會報告書は來る七日の代議士會に於て發表する筈(同上)

▲國分參與官の到着 電命に依り急遽東上したる國分秘書官は三日午後片瀬到着韓國の現状に就き詳細報告する處ありたり(同上)

▲内藏頭と管理局長 渡邊子爵は宮内大臣に親任せられたるに依り子爵が兼任し居たる帝室林野管理局長内藏頭左の如く任命せられたり

帝室林野管理局主事 佐々木陽太郎
帝室林野管理局長官心得被仰付
内藏頭主事 吉田 醇一
内藏頭心得被仰付

▲地方官會議諮問案 來る十五日より開會の地方長官會議に對し内務省より提出されたる諮問案如左

一改正市町村制、一地方債付資金、一不良少年取締法、一花柳病取締法

岩倉公爵家の謝電

故岩倉公爵嗣具綱氏より韓國宮内大臣宛にて左の謝電を寄せられたり

公爵岩倉具定薨去に就き貴皇帝陛下より御懇篤なる弔電を辱受し遺族一同感泣に堪へず謹んで御禮申上奉る宜しく御奏上を乞ふ

日清郵便規則發布

統監府令第八號を以て日清郵便規則發布せらるゝ同規則は總則、郵便物の種別、郵便物特殊取扱、郵便物の交付郵便物の轉送還附、郵便物取戻又は名宛變更、代金引換、小包郵物便遞關等七章廿五箇條よりなり四月一日より施行

東拓借款の内定

東拓會社に於ては今後起るべき資金の需用に對し借款、拂込及社債發行の三者中何れを取るべきやに付き講究中のところ今般愈々借款を起すに決定し某方面と既に内約濟の由なるが一時に多額の金を要せざることゆへ必要あるに隨つて引出し得る方法を講じたる由にて其の取引の行なはるゝは第二回内債の借替後に於て成立する筈なりと云

共進會と韓國館

福岡共進會參考館に於ける韓國館は入場者に頗る趣味あらしめ好評なるが出品は既報の如く農産物工業品より衣服調度迄網羅しあり朝鮮を了解するに便宜にして殊に韓裝人形は幾百言の説明よりも適切に有力に風俗を教へ農園市街等の寫眞は韓國を寒き未開の地と思意せるものに意外の感を與へ韓國を紹介する上に尠からざる裨益ありと同地よりの歸來者は語れり

救世軍の學校創設

救世軍大佐ホッガード氏に今回當地に本營を設置すると共に韓人實業教育獎勵の趣旨にて巨額の資金を投じて當地に一大實業學校を設置する事に決したるが曾禰統監は其の擧を賛し金二千四百圓を寄附したりと因に校舍は西大門内平洞に新築する筈なるが初め救世軍にては廣く一般より寄附金を募集する計畫なりしも曾禰統監より豫期せざる寄附金を得たる爲め當初の計畫を變更し軍の資金と曾禰子の寄附金を以て創設し一般の寄付金は募集せざる事に決したる由

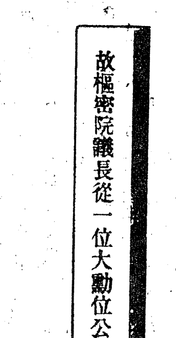
●韓銀貨幣發行週報

一、銀行券總發行平均高(自三月二十七日至四月二日) 一三、四三八、九三一
内正貨準備發行高 四、九六二、二一四
保證準備發行高 八、四七六、七一七
二、銀行券平均手許有高 六二四、三〇九
三、銀行券市場平均流通高 一二、八一四、六二三
四、硬貨發行額(四月二日現在) 六、二六六、一五五

内 金貨二十圓	一、八五〇、〇〇〇
同 十圓	五〇〇、〇〇〇
同 五圓	五〇〇、〇〇〇
銀貨五十錢	九四二、五〇〇
同 二十錢	一、四一〇、〇〇〇
同 十錢	九五八、〇〇〇
白銅貨五錢	六六四、一〇〇
青銅貨一錢	二六〇、五四〇
同 五厘	八一、〇一五

●保安課長交迭内定

顧問警察時代以來韓國政府警察の擴務に參與し警察制度を確立し斯行政上貢獻する處砂からざりし内部警務局保安課長岩井敬太郎氏は近々宮崎縣事務官に轉任し後任には同縣事務官警視莫角仲殿氏招聘せらるべく内定せりと



春畝公墓前之感(一)

スイロウ生

▲過般余が上京中二月十八日の夜余の寓居に刺を通じた紳士が有つた、ソレは龜屋の主人進辰馬君であつた、互に朝鮮仲間の懷か敷、故郷京城の噂氣さを談じ、東京御譲の用心すべきことを語つた。進君曰く余は明朝八時末松子爵夫人と倶に谷垂に墓參すべし、君同行せずやと、余答て曰く御同行は余の望むところ只八時出發は恐入ると、進君笑つて去る。余の寢坊なる翌朝果して八時の約に背く末松夫人や進君や定めし余を嗤ひしならん、而かも余にとつては之只朝鮮化の一端を發揮したるに過ぎず

▲眼のまわる程忙敷間も是非墓參と心掛けて居た、三月九日最早明日は歸韓の途に就かねばならぬ、今日こそはと萬事を抛ち只獨り谷垂に向かつた、品川電車を青物横町停留場に見捨て人車を驅れば田舍道恩賜館を横に見つゝ殆んど黄昏頃墓所の門前に達した。

▲驚いたのは墓所前にて茲には掛茶屋が三軒ある、れ約束の通り魚かしや靈者の手拭が吊してある、茶も出せば鮨も賣る、注文に因つては仕度もする、殊に店前には藤公墓殿の繪葉書を並べて居る。併し夫は俗の方面本富の商賣は線香、墓參の人への便利を足してソレデたつきが立つのだソーナ。

▲墓所は繞らすに竹矢來を以てす、門を入れば右に名刺受附あり、正面に進めば新しき墓標に威風堂々故樞密院議長從一位大勳位公爵伊藤公之墓と、嗚呼此書ばしき墓標の下此盛土の下には春畝先生、長へに眠る。

▲墓側の手洗水、墓前に献れる賽錢、之れに加ふるに諸方より奉納せる榊松等所狹きまで植付られ宛然之れ一村神社、斯くして藤公は老幼禮拜の標的となる、別格官幣伊藤神社の建立も蓋し近きにあるべきか。

▲余墓前に跪き瞑目久ふすれば公の温容余の面前に現はれ、例の口調にて宜はく君相變らず元氣かなと、余覺へずハイと答ふ眼を開いて再び墓標を見上ぐ、低徊餅するに忍びず、而かも偉人は長へに眠る、嗚呼止ぬるかな。

耶蘇教各派の現勢

韓國に於ける耶蘇教の活動は近頃の大問題として尠からぬ世上の注意を喚起し且つ爛々瀰漫する地方の情報は机上に積むで山を成し就中該教徒等の行動は頗る穩當に堪へざるものあり此際其筋の調査に成る各教派の現勢を見に如左

教派	宣教師	韓牧師	信徒
長老派(米)	一〇一	一、〇三三	一四八、七八〇
監督派(米)	六八	三八三	二六、〇一七
古監派(英)	三三	三二	四、四二五
天主教(佛)	三七	三〇	六二、二九〇
長老派(加)	一四	四一	三、八二〇
同上(濠)	一三	三〇	七、五七二
福音派(英)	二	…	未詳
天主教(獨)	二	…	未詳
正教會(露)	四	…	未詳
降臨教(米)	五	八	未詳
聖會會(英)	三	六	未詳
青年會(米)	六	七	未詳
救世軍(英)	八	…	未詳
宿泊所	一	…	三、〇〇〇
計	三二六	一、九二七	二五〇、二四四

該調査は多少の相違あらんも大体に於て現勢を穿ち得しものと見るを得べし

●鐵道期成會の謝電

湖南鐵道敷設に關し群山湖南鐵道期成會委員長阪上定信氏は三日石塚總務長官に宛て左の謝電ありたり

韓國唯一の產業鐵道として在韓居留民の渇望せる湖南鐵道敷設豫算は本期帝國議會に於て其の通過を見るに至れり之れ偏に閣下經綸の賜にして當港居留民の欣躍措く能はざる處本日茲に一大祝賀會を開催するに當り滿腔の熱誠を以て遙かに感謝の意を表す

●海老名氏仁川講演

三日午後八時より仁川民役所に於て海老名彈正氏の講演會を兼ね仁川基督青年會の發會式を擧行せしが參會者數十名の多きに及び頗る盛會なりしと

●警察方面會議終了

内部に召集中の警察部長第二方面會議は去る二日を以て終了し四日尚は一應の打合を爲し夫れ〳〵歸任すべしと

●東洋協會の卒業式

東洋協會學校京城分校は來る十日午前十時證書授與式を擧行し支部長石塚英藏氏より夫れ〳〵案内状を發せり

●實業補習學校規則

學部令第一號を以て實業補習學校規定公布さる同規定は頒布の日より施行

東拓會社の總會

東拓總會は來る五月中旬東京に於て開會の筈なるが今回は法律改正の結果として定款の改正を爲す筈なり

東拓社と各府縣

東拓會社が韓國農民の智識を啓發せん爲め二十名の農事視察團を組織し之を引率して五月中旬出發渡日せしむる計畫なる由は既報の如くなるが更に同社は此計畫完丁後内地各府縣より知名の農業家一名つゝ招致して韓國に於ける農業上の視察を促がし以て日韓農事上の連絡を期圖すべしと

清韓甜菜の競爭

東拓會社の嶺秘書役長は甜菜に就き昨年以來詳細の調査を遂げて其の議を重役會に提出したるに會社に於ては此議を容れて甜菜事業を經營することに決定した右に就て嶺秘書役長語りて曰く甜菜事業は滿洲鴨河江沿岸に於て阿什河製糖會社あり、此經營者は露國人にて元ポーランドの貴族某等主として甜菜の栽培を試みたる結果良好なるを以て一昨年之れが事業に着手し資本金百八十万ルーブルを投じ一箇年約五万砂の甜菜糖を製造し同地方面に於ける朕米人の需用並に一部の清國人に向つて販賣を開殖する見込にて既に機械の据付等も終りしが倘は一つは奥國以北に於て某獨逸人主として資本家となり清國人の有力者と圖り一大製糖會社を起すの計畫ありしが韓國に於て東拓會社の此策を計畫せるを聞きて中止せりと謂ふ滿洲に於ける成績と韓國殊に平壤附近に於ける成績を比較する時は其合擔分に於て其の純糖率は韓國の方優勢なりとのことは已に調査の上明確なりとす本年より會社が試作せる場所は黄州を中心とし西は平壤方面東は砂利院方面に跨り約二十箇所五町歩と外に民間有志者の希望あり約十箇所となる豫定なり試作の假事務所としては黄州興業會社支店内に當分設ることとなし試作に就ては平壤模範農場支署長花井技師、同社囑托大槻技師之れに當る筈なるが滿洲と競爭するも敗を取らず云々

外資と釜山民團

釜山民團は從來日本興業銀行及韓國銀行等に有する民團償借替の目的を以て今回某外國保險會社に向ひ金二百五十萬圓の借款を申込みたり、聞くところに因れば右外資の利率は年六朱との事にて興業韓銀の七八朱に比し民團の爲に有利なるべきは勿論なるが如何にせん相手が外人の事なれば一朝償還期限を誤る等の事もあらば邦人銀行と異なりて由々敷大事を惹起するに至るべく、夫れこれにて民團理事者は勿論統監府に於ても目下該借款案を愼重に審査しつゝありと云ふ。

●韓銀ご日本國庫金

韓國銀行にて取扱ひ居りし日本の國庫金は三月三十一日限りを以て契約滿期の處向ふ一箇年間此の契約を繼續することとなりたり

●宇佐川總裁歸着期

東拓總裁宇佐川男爵は去一日東京を出發せるが歸途大阪にて社用を辨じ更に郷里三田尻へ立寄りたる由にて南大門驛歸着は五日午後八時十分なりと云ふ

●日韓瓦斯ご出張所

日韓瓦斯會社は近々南大門外龍山に器具販賣所其他市内樞要の地に數箇所の引用申込所及出張所を新設する由

●安藤謙介氏の退京

韓海漁業株式會社創立委員長安藤謙介氏は四日午前九時南大門發列車にて同社重役内田忠光氏と同伴歸朝したり

●韓人市場開設準備

仁川の韓人市場設置の件は曩に其筋に對し認可申請中の處去る二日附を以て許可せられたれば目下開設準備中なり

●韓銀十八爲替取引

韓國銀行と十八銀行間に於ては今般爲替取引の契約を爲したり

●市原韓銀總裁歸着

總會出席の爲め上京中の市原韓銀總裁は四日午後八時十分着歸京したり

●熊谷頼太郎氏出發

新任島根縣八東郡長熊谷頼太郎氏は五日午前九時南大門發赴任の途に就く

●●●●兵須久氏送別會●●●●

百三十銀行仁川支店長兵須久氏の送別會を岩崎民長外六名の發起を以て明六日午後七時より仁川ホテルに開催する筈なりと云ふ

●國木通譯の歸任 伊藤公暗殺者安重根の審問に關する要務を帶びて昨年十月以來旅順に出張中なりし統監府通譯生國木末喜氏は一昨三日歸任したり

●小川事務官歸期 共進會出品事務を帶び渡日中なりし小川農商工部事務官は二三日中に歸任すべしと云ふ

●青山理事の出張 内藏院理事青山淺治郎氏は東京へ出張を命ぜられたり

龍山通信

(四日支局發)

▲騎兵聯隊長片野少佐は客月來龍山に滯在せしが一昨三日營所に歸へれり▲市原韓銀總裁は一昨三日午後一時二十五分釜山發列車にて大邱に至り一泊せる旨同驛より鐵道管理局に通知ありたり▲一昨三日午後零時四十五分大邱發平壤行列車は同驛にて貨車一臺脫線せしも三十分間にして復舊▲日韓瓦斯會社の近況を聞くに龍山なる軍用道路即ち漢江通に電車線路の敷設の件は遠からず起工さるゝ筈なるも新舊市街聯絡線は尚未定▲瓦斯は現在の需用者八百六十軒數千燈光の申込者續々有る趣なるも熱用は其便宜なることゝ經濟的なることと一般に周知されざる爲めなるか需用者比較的少數なり又副製物たるコークスは一手販賣人を設けて賣捌かせ居れる由▲京城龍山兩民團合併問題は調査を了へて後兩民團の交渉を開始すべく順序を定められたる如かりしも事件は因より一朝の調査に依りて決定すべきにあらず調査の途中交渉を要する事あり交渉の進行に至らず爲めに外間よりは一時中止せしものゝ樣揣摩するものありしも既に近來調査を了へ交渉も圓滿に進捗して唯一要件の解決によりて最後の決着を見るを得べしと

公人私人

▲鈴木小太郎(長野縣技師) 山本に投宿中二日仁川へ

▲伊藤聖太郎(百三十銀行鎮南浦支店長) 二日入京浦尾投宿へ

▲大谷政顯(大阪セメント會社專務取締役) 佐藤に投宿中三日釜山へ

▲西川宗一(水產會社員) 天眞樓に投宿中三日釜山へ

▲龜山理平太(釜山理事廳理事) 山本に投宿中同日釜山へ

▲寺尾政篤(韓業會社重役) 三日入京京城ホテルへ

▲古賀寅生(辯護士) 同上天眞樓投宿

▲治外法權▼

去る二日の夜商業會議所樓上で演つた海老名彈正氏の演說は近頃有益な事を聽かされた者である、氏は先づ其實驗した太平洋の沿岸我が幾多の移住民の狀態に就て曰く彼等は近來頻りに排斥を受けて居る而して彼等は遂に米人と遠ざかりつゝある、而かも彼等を排斥するは全部の米人にして、中流以上の有力者間には又大に彼等を歡迎しつゝある者がある、即はち彼等を歡迎する者は基督魂を有する人々で基督の魂には洋の東西人種の如何はないのである▲之れを今韓國の狀態に見るに大なる市街、大なる建築物之れ皆日本人の施設で丁度米國に於ける日人對米人と韓國に於ける日人對韓人との關係が正反對を爲て居る▲韓國の制度文物悉く日本人に依つて開發されつゝあるも只り宗教のみは之れを外人の手に委せねばならぬと云ふのは如何にも殘念である、されど今日韓人を指導するのは日本の義務であつて、宜しく基督魂を以て彼等を愛し彼等を導く可きである▲と云ふ樣な意味であつて、韓人を導くには如何なる方法を採るべきかと云ふ事は、吾人の平素研究しつゝある處であるが、海老名氏は基督魂即ち世界的魂で導けと云ふ、而かも未だ具體的成案はないらしい、又一寸來た位いでは解かりそうな筈がない、五年十年と居てさへ解からぬのだから▲湖南線が出來る事になつた爲め木浦や群山では一時圓六十錢の藝妓の花代が急に七十錢に値上げされたそうな、以て如何に景氣附いて居るかゞ判かる▲朝鮮新聞の滿韓博覽會は近來に無き宜き企だてゝある吾人は同業者として同社の成功を祈る。



滑稽納手の一将

▽無邪氣な者は承出たし

[illegible]

りの方へ此の由を傳へしかば時を移さず一人の藝妓餅寄は四つに折つて懐に納め頭痛膏は合財の中に潜ませて今晩わり一も觀念の臍を堅めし覺悟の体殊勝氣に現はれしが怒りの者は何を何と間違へしやらん一金圓の線香代は前金にて申受けんとこそ言入れたれ苟も機會あらばふざけてやらんと待受けたる粋士の面々之れと聞るフム諸々の二つ返事懐中より約束の用紙取出し記すを見れば

一金二圓也
振出日　月　日
振出地　龍山
支拂期日　月　日
支拂場所　龍山櫻町待合東雲
振出人　野中　大隅
大村　越路殿

斯く記して渡し老松町の料亭東屋の女將が根縮の内に仕舞はれしが景氣恢復のれ暁にて何うやら期日迄に支拂ひも濟みし模様なりと以めでたし

薩摩丸と遭難船

▽船長船員乗客の美擧

[illegible]丸が三十一日夜關門を[illegible]に向ひ航行中一日午前[illegible]と釜山の中間五陸島[illegible]海上にて帆船の顚覆せ[illegible]取着き救けよ〳〵と叫[illegible]行を徐めて風浪の激し[illegible]漸く救助したるは大分[illegible]村字中津浦東千代松（）[illegible]しか（二八）坂井宇佐吉[illegible]年遭難急手當を施し順[illegible]上けんとせしも折か[illegible]爲めに巻かれ遂に船體[illegible]て入港したるが遭難者[illegible]に向ひ涙ながら語て[illegible]縣北海部郡海部村大字[illegible]の所有船幸吉丸とて七[illegible]が去三月二日臼杵を出[illegible]日午前八時頃佐須奈港[illegible]の海上にて逆潮く激浪[illegible]覆し積載し居たる釜山[illegible]迄荷すべき味噌四斗樽[illegible]斗四十樽石灰百五十俵[illegible]みしが乘組の前記各名[illegible]同村の板井たま（四三）と[illegible]して顚覆せる船體に纏[illegible]居りしが板井たまは總[illegible]命して海中に沈み他の[illegible]となつて命を天に任せ[illegible]薩摩丸船員の認むる所[illegible]救助されて九死一生を得[illegible]船員のもの互に醵金し[illegible]遂一物語りしが薩摩丸[illegible]も同情を求めて集まりし[illegible]圓を遭難者三名に分與し[illegible]と云ふべきなり

竹千代丸の沈没

▽乗組員一同無事
▽損害額十餘萬圓

去月卅日午後五時三十分神戸を出帆したる大阪原田所有汽船兵庫丸（一、四三八噸）は綿糸、燐寸其他雜貨九百噸を搭載して濟國商島へ向け航行中卅一日午後九時三十分頃山口縣本山冲二哩四分の三の個所航行中前方より下關を出帆したる三重縣鳥羽造船所汽船竹千代丸（四八七噸）の進行し來るを認めたれば汽笛を鳴らして警戒を加へつゝ航進を繼行したるに竹千代丸が進路を轉せざるより忽ち兵庫丸の左舷船首は竹千代丸の船尾に衝突したれば竹千代丸は大損傷を蒙りて見る〳〵沈没し積荷五百五十噸及び乘組船員二十八名、乘客七名は海中に陷りたるが夜中に於る意外のことゝて周章狼狽一方ならず大混亂を極めたるも幸にして一同生命には別狀なくいづれも兵庫丸に救助された

るが竹千代丸の被りたる損害は船體約七萬圓、積荷約五萬圓合計十餘萬圓なるべく船體は船尾の龍骨を破碎せられ引揚ぐるとも殆ど其用をなさざるべしといふ衝突の原因に就ては目下取調中にて判明せざれども當初兵庫丸より合圖の汽笛を鳴したるも竹千代丸にては此合圖間違へてか同一方向に針路を向けたる結果なるべしとも云ふ

●當地の種痘日割

▽見落すべからず

來る十一日より十八日迄で八日間當地住民の種痘施行せらるべきに付左記日時に出頭せられたき旨昨日夫々公示せられたり

▲四月十一日●●●●南山町三丁目本願寺別院にて●●●●旭町三、四丁目南山町一、二、三、四丁目、倭城臺、壽町一丁目

▲四月十二日●●●●南山町三丁目本願寺別院にて●●●●明治町一、二、三丁目曙町、永樂町一丁目黃金町、玉川町、水標橋通一、二丁目長橋通、鐘路通、東雲町、廣川町、三角町、本町二、三、四丁目

▲四月十三日●●●●旭町一丁目歌舞伎座にて●●●●御成町、吉野町、古市町一、二丁目、濱江通七丁目、蓬萊町一、二、三、四丁目、獨立門通一、二、三丁目、竹添町、和泉町、西大門通一、二丁目、昭義門通、新橋通、太平町一、二三丁目、光化門通

▲四月十四日●●●●旭町一丁目歌舞伎座にて●●●●米倉町、相生町、北米倉町、長谷川町一、二丁目、南大門通一、二、三、四丁目、羽衣町、苯屋町、幸町、本町一丁目、岡一丁目裏通、旭町一、二丁目

▲四月十五日●●●●本町七丁目京城座にて●●●●大和町一、二、三丁目、壽町三丁目、日の出町、新町、本五、六丁目、東四軒町、西四軒町

▲四月十六日●●●●本町七丁目京城座にて●●●●本町七、八、九、十丁目、初音町、花園町、櫻井町、永樂町二、三丁目、若草町一、二丁目、竹園町、東大門通一、二、三丁目、惠化門通、光熙門通、岡崎町、大井町、船橋町、黃橋通、林町、二葉町、笠井町、敦化門通、琵琶町、仲町、紅葉町

▲四月十八日●●●●山下町京城居留民團吏員出張所にて●●●●濱江通一、二、三、四、五、六丁目、青葉町、山下町一、二丁目、水道町一、二、三丁目、三坂通一、二、三、四、五、六丁目、岡小橋通一、二、三、四、五丁目、柳町一、二、三、四丁目、櫻町一、二、三丁目……以上

▼着物の汚點脱き▲

ボカ〳〵して來て着物の汚點が眼に立つ如になつて來た▲黴の出たる時は梅の葉を煎じて洗ふか又は石鹸水に浸して後能く揉めば大抵の黴は取る事が出來る▲鐵などの附きたる時は白砂糖を揉み付けて洗ふがよい▲ベンキの附きたる時は布片に揮發油を附けせ拭ふがよい▲泥の附きたる時は生姜の絞汁にて洗ふか又は能く乾して後羅紗類を以て能く竪横に摩擦するがよい▲モチ及血の附きたる時は大根の絞汁にて丁寧に洗ふがよい▲油の附きたる時は水一升に鹽二合を入れ能く煎じ少し冷したる後に洗ふがよい▲白きものに茶の附きたる時は飯の取湯にて洗ふがよい▲漆の附きたる時は味噌を煎じ上すみを取り少し冷して洗ふがよい▲甘い物の附きたる時は鹽を煎じて洗ふがよい▲蠟の附きたる時は木炭の鰹灰を紙に包みて其上に宛てるがよい▲手巾類に酒又は茶のシミの附たる時は熱湯を注ぎて揉むがよい▲古いことだがれ利益になることだから忘れぬ樣に……

●韓人の官職詐稱

▽働かずに食へる稼業

龍山坊青坡巨四契住無職金允玉（二九）及び同洞五十三統十戶張文玉（三七）の兩人は此の頃の不景氣に眞面目に稼いでも甘いキヽチも食べられないが多いに遊んで溫い小豆飯を食ふには何がブッパ拔けた珍稼業に從事せざる可らずとフケと應談に汚れ切つた頭を二つ寄せて考へた末が同所居住の爲大千方に出向き自分共は中部警察署の密偵なるが同居人金相鎬に不審取調べの廉ありと脅し附け同人を縛り上げ散々に毆打したる末拘引せらるゝが厭ならば其處は夫れ緩みと欣水ひあれば魚心なぞと仄めかしものにせんとしたるを西部署にて探知し官職詐稱毆打罪として引致し目下松田警部の手にて取調べ中なりと云ふが之れで望みの通り働かずに食ふには困らぬ處へ行ける理由なれば當人共は嗚かし喜んで居ることゝなるべし

●仁川新町の失火

仁川新町二丁目菓子製造業奈良崎勝助方二階より一昨日午後十時三十分頃發火しあはや大事に至らんとせしも逸早く附近の人々駈付け岡家筋向ひなる朝日湯の貯水を汲み取りて消防に努めし結果あせよくも消止むるを得たりしが原因は同人方二階にて統監飴製造中餘り火力の强かりし爲め菓子の原料火中に墜落し其が爲め燃へ上りたるものにして損害は僅かに卅五圓余なりしとは不幸中の幸と云ふべし

●一日轢死者三名

一昨三日京義線土城驛附近に於て年齡三十四五の韓人一名轢死を遂げしが同時京釜線にて釜山驛を距る約九哩の地點に於て韓人男一四十哩の地點にて同じく韓人男一名轢死を遂げ居たるを保線所巡視發見したりと轢かれた奴も勿論惡いが轢いて居いて知らん面で轢かれて居たとすも少々酷い

●拾得

一昨日午後十時頃仁川新町路上にて女肩掛を拾得仁川署に屆出でしものありと近頃の暖かさに肩に掛けて心に掛けぬ爲なるべし

●諸國盆踊唱歌評（六）

▽昔流行の唱歌でムる
▽花も實もある優しき

大和の部

『吉野川にはすむかよあゆが　わしがむねには戀が住む』

敎士『文學上の價値はゼロである』　惡口『君の評のことかね』　李『此の頭の若い人達は『惚れて殺へないからとて何うして死なゝきやならねねか』　チウ如な事さ云つてアンでもハアラン、ハヽヽ、いに掛けねねちや承知しねねチウかちらハアオツソロせねてんだ　藤『李さんの氣畑に巻かれた譯ではないが秀逸と思ひます　通『何うしてなんぞと聞くもんぢやアげねせんよ

『月夜かげにもはしたき袖を　ぬらしたよ又しほるほど』

頭取『此れに對しては何誰も御異議は御座んすまい　通『賛成しやす　惡口『賛成してれば間違ひあるまい

井門の政子が放蕩見石原辰之助を救濟せんとして五百圓を調達したと云ふ事が某新聞に出て居る、流石は江戸妓

實に素らい〳〵素らい序に今二三年も年期でも延ばしてイッソ千四五百圓を作つたなら或は無罪にする事が出來るかも知れん無罪否それが罪ぼろぼしと云ふ者▲仁川敷島遊郭に於ける一昨日の揚り高は百七十四圓廿錢にして嫖客數は五十名なりしは日曜と神武天皇祭の爲め景氣を盛へたるものなりと▲仁川券番三月中の賣上順二十番迄は左の如し

米蝶、富美子、君枝、舞桃太郎、丸八、八千代、生駒、笑子、愛千、一昇、金太、光子、五郞、八重山、久子、榮太郎、梅八、朝日、雛太郎、富久之助

▲ちり鍋▼

鯛、鮟鱇、をこせ、こち、河豚などは最も適して居る先づ魚を水洗して三枚にれろし肉は一寸角位の拇切となし骨も頭も程よくて鹽、生豆腐、春菊、せり、三つ葉、椎茸、松茸、松露など時の菜を見はからいて大鉢に体裁よく盛合せ、別に白味噌を擂り煮出汁にて薄くのばし薄味噌汁に仕立てゝ鍋に入れ七輪にかけて共に出し沸へ立ちたらば材料を入れ煮熟したるのち木皿に取り橙酢を掛けて食す

藥味には紅葉れろし（大根の中實に箸にて穴をあけ唐辛子三四本を押込みれろし金にて擦れろしたるもの）と極く細かく刻みたる葱などを添へるのである

▲平民文庫▼

▲二日の本紙に「馬飲食店を驚かす」と題して載せた記事中衝突の原因が甚だしく相違して居るから下の如く訂正す

▲下島君の朋友某が松本駒太郎即ち蠟代に借金が有つたのを繁さんが持つて行つたが只借り丈け返して左樣ならも氣が利かねと云ふ所から一寸一盃傾けたが何本目かの酒が呑み切れぬ▲所で繁さんの曰く『何うかして此れを宅へ持つて行く工夫はないかナア』と酒落れた積りであつた▲スルト傍に居たれ酌の泥放れの爲ないのが『紙を進げましよう包んでれ歸り』と行つた▲夫れが其の場合甚だしく繁さんの癪に觸つたのだ相だ▲鳳聞子も曾つて左樣云つた事に出會つた事がある料理店の名は勸忍して行るが取つた料理が少し許り殘つたので折を買つて詰めて居ると傍に居た泥臭いのが殘汁を指して『之れも御持ちに成りますか』と云つたが褒めた云分ではない▲此う云う物の言ひ樣さへ知らぬ京城へ來る迄はヲコ○ゼ○ヤ○平目と睨めつてをして日を送つて居た女が脊樓の仲居が勸まつて行くのだから恐ろしい▲現に角料理店飲食店の主人は此の邊へ多く注意を拂ふべきだ（鳳聞子）●●▲長谷川町で英總領事の車が前に行く度支部の渡邊技師の車を追ひ拔かんとして衝突して英總領事の車は滅茶〳〵になつて自業自得である然るに英領事の車夫は渡邊君の車夫即ち早瀬組の車夫が惡いのだとチヤチヤ娶る之れを目擊した某君は日人車夫の爲めに其の橫暴を鳴らす四日朝の太平町二丁目の交番は素晴らしい景氣であつたが日本人巡査が居なかつたので仲々埒は開かなんだ（通行人）●●●▲長谷川町兵營軒下を通行して兵士に毆打せられし人ありとの投書せし方其の人の姓名住所を一報あれ然らざれば虛報と認む（係）▲京城ホテルのボーイや仲居さんはれ客人や出入の商人に不必切ですよ主人が見たり聞いたりすると怒りますよ旅館の方法が判らねば巴城館や浦尾邊に洋行しなさい（注意生）▲朝湯へ這入るのに牢股引など洗濯して居る方がありますが感心なのか吝なのか分りませんね（入浴男）▲感心のなられ娘子の聟にでもすると云ふのですか（小僧）

今日の運勢

四月五日舊二月廿五日四綠●友引庚子納△一白●盜害橫領を防ぎ保證引受の煩を避くべし治水利水の事に尤も妙△二黑●破綻を來し易し縮約婚姻養子連盟共同組合凶△三碧●模樣方針替改革整理に適せず家庭若くは近親の事に煩累あらん△四綠●從者家族より累煩を受けんとす尙盜害防ぐべし新事見合の事△五黃●情義に驅られ出指損失あらんとす新事見合の事△六白●開店創業凶大凡そ不如意の日なり建築動土には吉△七赤●難義多し仕入れ旅行出帆行商等凶色情煩悶の破れを戒しむ△八白●破れ多き日なり登察紛爭あらん旅行投資に忌むべし△九紫●大凡そ快欣の日なり整理改革變更移轉旅行に吉（本町五丁目三一館判斷）

●天氣豫報（自四日午後六時至五日午後六時）

北、西の風晴

三日（華氏）最高溫度　五二、七
最低溫度　三〇、九

京城居留民團公文

京城居留民團告示第十四號
當民團立京城中學校廢止ノ件三月三十一日付ヲ以テ認可ヲ得タリ
明治四十三年四月四日
京城居留民團民長　古城菅堂

廣告

●忠淸南道道書記官官舍其他新築工事右四月十一日入札ニ付ス（統監府）

廣告

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目 電話一千四百〇九
ゑり徳商店

電話一一八二番
あちや
金高の多寡に拘はらず十二分の御便利を圖り迅速御相談に應ず質物は叮嚀に取扱ひ極めて安全に一定の場所に保管す
京城明治町
大槻商行質部
流質品と雖も場所の許す限り可成長期間大切に留保し萬遺漏なきを期す

營業品目
藥種、化粧品、薪炭類
日用食料品、諸雜貨
龍山元町四丁目（電話六三八番）
電話又は葉書にて御一報御屆申候
武藏屋

各科診療
入院隨意
龍山元町二丁目
佐藤病院
（電話一〇三番）

●北越及西陣絹織物直輸入
●京都美術御染物請け元
越後屋商店
龍山老松町九〇
取次電話三一六
御報次第參上仕候月賦提供の便法あり

▲開店御披露▼
東京手打生蕎麥及天麩羅
龍山驛向ひ（電話六〇五番）
雞林庵

最上醬油
龍山祝町（電話三三八番）
高橋醬油釀造所

入院隨意
內外科
皮膚科梅毒淋病
婦人科
龍山老松町上田病院跡
世氣醫院
院長 世氣敏
（電話一二八番）

絃齋流割烹並に歌舞伎辨當
材料の精選と技術の熟練は割烹界に於ける弊店の特色に有之候
京城南山町二丁目
もは袮
（電話一五〇二番）
出前の儀は電話又は一報次第即刻持參可致申候

營業品目
琴、三味線、尺八
洋琴、鐵琴、横笛
月琴、明笛
三味線張替修繕並に小道具類は特に大勉强
京城本町二丁目（本町五丁目郵便ポスト前）
米川三味線店

印刷と紙
諸官衙御用
諸紙 和洋帳簿
印刷
各種製本
播本（ハリモト）商店
京城本町六丁目
電話百拾番

値上廣告
韓語大成
一部一圓八十錢
從來一部一圓五十錢の處今回紙數百余頁を加へ改正增補致候間前記の通り値上候也
京城本町五丁目
釘本藤次郎本店
長電話四五番
振替貯金口座韓國二五六番

春着用本場秩父縞
新柄各種着荷
京城明治町一丁目
秩父屋
關根出張店
（電話四三番）

時節柄敷物及夜具等新調仕り室內の設備も相整申候
御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
原金旅館
（電話一一一五番）

◎ヴァイオリンに趣味を有する諸士は來り會せよ
本會は常に正則と熱心さを以て懇切に教授す（但日曜祭日を除き）
速成科 每日午後一時より同五時まで
普通科 隔日午後六時より同十時まで
京城旭町二丁目（名古屋城上鍋島邸下）
京城音樂講習會
教師 勳七等 淺井秋水

生儀多年京都帝國醫科大學耳鼻咽喉科教室に勤務罷在和辻博士の下に研究致し居候處今回左記の處に於て斯科患者の診療に從事致し候
耳鼻、咽頭、喉頭、氣管病
診療時間 午前九時至午後七時迄
旭町三丁目（三日月旅舘上）
前京城病院耳鼻咽喉科部長
石田耳鼻咽喉氣管科醫院
石田誠

電話開通一七〇九番
今般石田誠君貴地に於て開業致候間小生同樣御眷顧被下度候
京都醫科大學
醫學博士 和辻春次

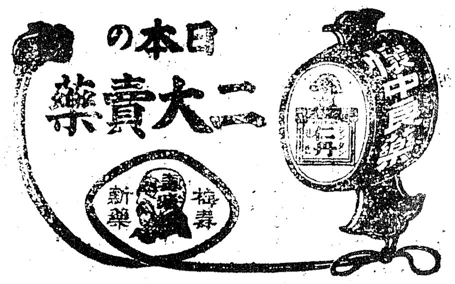
本院は每日（日曜及祭日を除く外）午前九時より午後四時迄專門醫に診療を依頼す
但松村和田兩先生の診療時間は午前九時より正午迄とす
龍山居留民團囑托
龍山榮町文平山麓
龍山醫院
（電話六〇三番）

京城本町壹丁目
發賣元 三巴酒店
電話七五三番
最上醬油
仁川港
釀造元 三巴醬油釀造場
電話七○參番
龍山本町三丁目
發賣元 三巴酒店支店
電話五六四番

●女生徒募集
本科各學年及技藝專修科各學年生徒若干名募集す學則入用の方は郵券二錢送附せらるべし
來る四月十一日より授業を開始し各教科は專門の良教師之を擔當す
京城旭町一丁目
私立京城女子技藝學校

●園兒募集
●幼兒若干名募集す 四月十一日
●保育開始
開誘室遊嬉室附添人控室等の設けあり廣い運動場もあります
旭町一丁目ベルギー領事館西
私立京城幼稚園

●夜學生募集
●英語、國語及漢文、數學の三科目
●四月十一日より授業を開始し每日午後七時より十時に至る
就監府中學校の該科教科書に就きて教授す入學希望の方は來校の上承合せらるべし
私立京城夜學校



代理店
京城南大門通三丁目
新井藥房
電話九百四番 千六十八番
振替口座韓國十六番

諸荒物世帶道具一切
其他和洋蠟燭
サッポロ アサヒ ビール 精白米
右大勉强仕候に付陸續御用命仰付られ度伏奉願上候
京城本町六丁目
日用雜貨 御問屋
西崎嘉七本店
電話二一〇（電略ニカ）
振替貯金口座韓七番

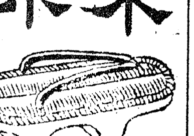
神戶養生分院
京城梅毒病院
京城相生町（南門納樣）
◎花柳病專門並痔（注射療法）
●入院隨意●
院長 醫學得業士 廣田辨平
（電話一二九四）

諸官衙御用品調達
營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類
委托販賣
東京ランパート商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約
釜山慶尙合資會社食鹽特約
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目（電話二三〇番）
出張所 東京橋南鍋町一丁目十番地 京橋新電話三六九二

御紋上繪、染物、洗張、西洋洗濯
もの、しみぬき、かけつぎ
京染悉皆取扱
葉書にて御一報被下候へば早速店員罷出精々御便宜に御取扱可申候
京城古市町
京屋
主任 島田嘉吉

開業御披露
今般左記の處に開業致し粹樣方の御來車を待申候
京城本町八丁目橫入初音町
待合貸席
松廼家
電話千三百九番

京城南山町（元日本人俱樂部跡）
京城ホテル
長電話一二三番
電話四九二番

東京
足袋
本店東京
京城大和町一丁目（日の出橋際）
大和屋
藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場內ニモ出張店アリ

正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

明治廿年七月創立
東京火災運送海上保險株式會社
資本金一千萬圓
京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九
事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

きゝめのある温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん膽胃加答兒、頭傷、がんがさ、其他內用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり
京城本町一丁目郵便局前
貸席
鐵冷温泉
電話千四百十一番

特約販賣
味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店
（電話二五一番）
製自和洋酒、罐詰、酢、穀物麵類、銘茶、鑵詰、乾物、食料雜貨、ビール、米糀、鰹節、塩辛、日本酒各種特約販賣
尙御望に依り商品切手調進仕候

京城明治町二丁目（佛國教會前）
辯護士
特許辯理士
岩田仙宗
電話三五四番

[illegible] 京城 [illegible] 町 [illegible] 牛乳 [illegible] 一枚 [illegible] 場

韓國銀行
本店 電話（長）一一二三 一三〇一 二二二〇
電話（長）一二六 三六一 〇六二
當座直係 用度係 來客用 臨時建築部
支店出張所
仁川、平壤、元山、大邱、鎮南浦、群山、木浦、馬山、城津、成興、鏡城、安東縣
爲替取引先
東京、大阪、横濱、神戶、京都、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大阪西區、松山（以上日本）、釜山、公州、光州、全州、開城、海州、沙利院、博川、寧邊、義州（以上韓國）、大連、（清國）
當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外普通銀行業務に屬する預金貸金爲替等精々確實親切に取扱申候